

教育委員会の事務に関する点検評価の実施について

千早赤阪村教育委員会では、社会情勢、教育環境の変化を踏まえて、毎年、教育委員会議で「千早赤阪村教育委員会教育方針」を決定し、教育行政の推進に取り組んでいます。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」では、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。」と規定されています。これに基づき、千早赤阪村教育委員会は、令和5年度の取り組み状況について次のとおり点検及び評価を実施しました。

目的

本村教育行政事務の実施状況を検証し、課題や今後の方向性を明らかにして、効果的な教育行政の推進を図ります。また、その結果を村議会に報告するとともに、公表することにより、住民への説明責任を果たします。

対象

今回は、令和5年度に実施した主要な事務事業を対象としました。

方法

点検・評価にあたっては、「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図る」と規定されており、本村教育委員会では、事務局職員が自己点検・自己評価をする過程で次の有識者の意見をいただきました。

(予定)

(50音順 敬称略)

西岡 智 (四天王寺大学教育学部准教授、元村立中学校校長)

武部 圭以子 (民生委員)

I. 教育委員会の活動・教育財政

1. 教育行政

(1)教育委員会議

教育委員会議（定例会）を毎月開催しています。令和5年度では定例会議を12回、議案30件を審議承認しました。審議案件は、教育事務に係る予算（当初及び補正）案件、教育委員会関係の規則・要綱等の制定・改正、令和6年度使用教科用図書の選定等についてでした。

(2)学校訪問及び校長等との懇談

学校について理解を深め、よりよい学校教育を進めるため、学校の訪問を実施しました。

実施日／訪問校 5月25日（木）／中学校

6月29日（木）／千早小吹台小学校、赤阪小学校、げんきこども園

(3)教育委員会委員としての研修参加

5月17日（水）大阪府町村教育委員会連絡協議会定期総会

(4)教育委員会関連事業等への出席

- ① 小学校・中学校の入学式・卒業式（各委員）
- ② 小学校・中学校の運動会・体育大会、千早小吹台小学校のマラソン大会（各委員）
- ③ 二十歳のつどい（各委員）

(5)教育委員会表彰

本村の教育の振興、発展に貢献された方を表彰しました。

被表彰者 5名

(6)教育委員会委員(平成20年～令和5年)

職名	期 間	H20. 9. 11	H21. 4. 1	H25. 4. 1	H25. 6. 20	H26. 11. 14
		～H21. 3. 31	～H25. 3. 31	～H25. 6. 19	～H26. 11. 13	～H29. 6. 19
委員長		東條 けい子	東條 けい子	東條 けい子	東條 けい子	杉本 重雄
委員長職務代理者		矢倉 龍男	矢倉 龍男	山口 光代	山口 光代	東條 けい子
委 員		山口 光代	山口 光代	八野 章	八野 章	八野 章
委 員		八野 章	八野 章		杉本 重雄	東條 由紀子
教育長		山本 澄雄	田村 登	矢倉 龍男	矢倉 龍男	矢倉 龍男
職名	期 間	H29. 6. 20	H29. 11. 14	R1. 11. 13	R1. 12. 24	R2. 12. 20
		～H29. 11. 13	～R1. 11. 12	～R1. 12. 23	～R2. 12. 19	～R6. 7. 15
教育長職務代理者		八野 章	八野 章	八野 章	東條 由紀子	東條 由紀子
委 員		東條 けい子	東條 由紀子	東條 由紀子	中村 泰雄	瀬戸 葉子
委 員		東條 由紀子	中村 泰雄	中村 泰雄	瀬戸 葉子	渡部 愛
委 員		中村 泰雄	瀬戸 葉子	瀬戸 葉子	渡部 愛	出口 晴久
教育長		矢倉 龍男	矢倉 龍男	栗山 和之	栗山 和之	栗山 和之

2. 教育財政

(1) 教育委員会所管の決算

歳 出

単位：円

区 分	細 区 分	令和4年度	令和5年度	増減
教育総務費	教育委員会費	123,368,641	130,188,466	6,819,825
	教育指導費	3,746,586	3,321,109	△425,477
	教育振興費	58,231,809	56,846,557	△1,385,252
	小 計	185,347,036	190,356,132	5,009,096
小学校費	(小) 学校管理費	18,750,923	17,518,917	△1,232,006
	(小) 教育振興費	14,242,080	13,987,602	△254,478
	小 計	32,993,003	31,506,519	△1,486,484
中学校費	(中) 学校管理費	10,736,591	10,399,790	△336,801
	(中) 教育振興費	5,709,849	5,844,750	134,901
	小 計	16,446,440	16,244,540	△201,900
社会教育費	社会教育総務費	4,586,929	4,497,676	△89,253
	生涯学習費	1,843,086	1,877,195	34,109
	文化財保護費	418,620	499,489	80,869
	人権教育振興費	19,230	19,320	90
	資料館費	4,134,359	4,005,674	△128,685
	くすのきホール管理費	13,585,465	15,740,792	2,155,327
	小 計	24,587,689	26,640,146	2,052,457
保健体育費	保健体育総務費	3,452,312	3,278,013	△174,299
	体育施設費	16,560,637	14,068,382	△2,492,255
	学校給食費	64,069,595	51,894,755	△12,174,840
	小 計	84,082,544	69,241,150	△14,841,394
合 計		343,456,712	333,988,487	△9,468,225

○主な増減理由

・教育総務費

教育委員会費：職員配置数の増加に伴う職員人件費及び会計年度任用職員人件費の増

・社会教育費

くすのきホール管理費：令和5年度におけるくすのきホールキュービクル改修工事による増

・保健体育費

学校給食費：令和4年度における給食センター地滑り調査・解析委託事業及び令和3年度繰越明許に
おける給食センター自動フライヤー購入業務による減

歳入

単位：円

区 分	細 区 分	令和4年度	令和5年度	増減
教育使用料	保健体育使用料	3,475,800	3,886,595	410,795
	社会教育使用料	1,398,385	1,388,935	△9,450
	小学校使用料	100,780	101,180	400
	中学校使用料	40,615	40,680	65
	小 計	5,015,580	5,417,390	401,810
教育費国庫負担金	教育振興費負担金	15,633,511	19,103,970	3,470,459
教育費国庫補助金	教育費補助金	193,000	39,000	△154,000
教育費府負担金	教育振興費負担金	13,199,694	12,147,288	△1,052,406
教育費府補助金	教育費補助金	391,000	391,000	0
雑 入	雑 入	880,902	1,029,269	148,367
合計		35,313,687	38,127,917	2,814,230

○主な増減理由

- ・教育費国庫負担金
教育振興費負担金 施設型給付負担金の減
- ・教育費府負担金
教育振興費負担金 施設型給付負担金の減

(2)教育施設（在籍児童・生徒数は令和5年5月1日現在）

■千早赤阪村立赤阪小学校

所在地	大阪府南河内郡千早赤阪村大字水分 56 番地
敷地面積	5,077 m ²
構造・建築年	鉄筋コンクリート造 2 階建・昭和 36 年
在籍児童数	1 年生 13 人、2 年生 9 人、3 年生 8 人、4 年生 15 人、5 年生 13 人、 6 年生 18 人、計 76 人

■千早赤阪村立千早小吹台小学校

所在地	大阪府南河内郡千早赤阪村大字小吹 68 番地の 780
敷地面積	11,080 m ²
構造・建築年	鉄筋コンクリート造 2 階建・昭和 51 年
在籍児童数	1 年生 13 人、2 年生 16 人、3 年生 13 人、4 年生 8 人、5 年生 15 人、 6 年生 16 人、計 81 人

■千早赤阪村立中学校

所在地	大阪府南河内郡千早赤阪村大字東阪 25 番地
敷地面積	11,359 m ²
構造・建築年	鉄筋コンクリート造 2 階建・昭和 33 年
在籍生徒数	1 年生 31 人、2 年生 30 人、3 年生 36 人、計 97 人

■千早赤阪村立学校給食センター

所在地	大阪府南河内郡千早赤阪村大字桐山 258 番地
敷地面積	1,691 m ²
構造・建築年	鉄筋コンクリート造一部 2 階建・平成 5 年

■千早赤阪村 B & G 海洋センター

所在地	大阪府南河内郡千早赤阪村大字東阪 255 番地の 1
敷地面積	10,345 m ²
構造・建築年	体育館：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2 階建・平成 2 年 25 メートルプール、幼児用プール：平成 2 年

■千早赤阪村民運動場

所在地	大阪府南河内郡千早赤阪村大字東阪 117 番地の 5
敷地面積	10,274 m ²
建築年	昭和 59 年

■千早赤阪村立テニスコート

所在地	大阪府南河内郡千早赤阪村大字東阪 121 番地の 1
敷地面積	1,927 m ²
建築年	昭和 61 年

■くすのきホール

所在地	大阪府南河内郡千早赤阪村大字水分 263 番地
敷地面積	3,272 m ²
構造・建築年	鉄筋コンクリート一部鉄骨造 2 階建・平成 5 年

■千早赤阪村立郷土資料館

所在地	大阪府南河内郡千早赤阪村大字水分 266 番地
敷地面積	1,139 m ²
構造・建築年	鉄筋コンクリート造 2 階建・昭和 61 年

II. 教育委員会の点検・評価

令和 5 年度に実施した主要施策や事業を対象として、次ページ以降で項目ごとに評価シートにより、点検・評価を実施しています。

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	1 社会を生き抜く、確かな学力づくり (1) 学習習慣の定着と言語能力の育成
2. 事業の概要	言語活動の充実をめざし、聞く力、話す力、読み取る力、書く力の育成をめざす。 また、学校における読書活動を継続して行い、読書習慣の定着をめざす。
3. 令和5年度 取組状況	○すべての教育活動において言語活動の充実を意識し、自分なりの考えを持つこと、伝え合う活動を大切にした。 ○始業前の時間に、読書の時間を設定し、読書習慣の定着を図った。また、読み聞かせボランティアの協力を受けて、本に親しむ機会を設けた。 ○学校図書館司書の活用により、図書館整備の推進と読書活動の質の向上を図った。
4. 成果と評価	<p>【成果】</p> <p>○各教科、学習活動の中で言語活動を意識しておこなえた。</p> <p>○村内全校で、朝読（朝の読書週間活動）が定着している。</p> <p>○各校において、授業者が言語活動を意識した授業づくりができた。</p> <p>【評価】</p> <p>○授業において自分の考えをグループや学級全体に伝えたり、相手の意見を聞いたり、対話を通して学習を深めることができた。</p>
5. 今後の課題と 方向性	<p>○自分の考えを伝えるために、言語活動をより充実させる必要がある。ICT機器を使った発信と関連付けるなど、活動内容の工夫は引き続き必要。</p> <p>○中学校において読書への関心が減少傾向にあることに着目し、学校図書館司書と連携しながら、知的好奇心をくすぐるような新しい図書を積極的に配架し、図書室の利用を促進する。令和6年度も3校共通の村会計年度任用職員として、引き続き学校図書館司書を配置していく。</p> <p>○令和6年度以降も、国語科と算数科における千早赤阪村基礎学力テスト（CKT）を実施する。</p>

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	1 社会を生き抜く、確かな学力づくり (2) 外国語教育と異文化理解
2. 事業の概要	村の教育の重点施策として、小学校1年生から中学校3年生まで、外国語（英語）教育を進めていく。
3. 令和5年度 取組状況	<p>○小学校1～4年生において週1コマ、小学校5・6年生において週2コマのALTと担任とのTTによる外国語活動および外国語科の指導を実施した。</p> <p>○（小）新学習指導要領に基づいた、指導方法、評価のあり方について研修を行い、小学校版CAN DOリストの作成にとりかかった。</p> <p>○中学校の全学年の生徒を対象に実用英語技能検定を実施した。</p> <p>○英語体験事業として、キッザニア甲子園のEAPプログラムに小学校6年生が参加し、中学校1年生はくすのきホールにおいて、1日中オールイングリッシュ体験を行う「中学生英語Camp」を実施した。</p>
4. 成果と評価	<p>【成果】</p> <p>○小学校における外国語活動の研究授業を4回行って大学教授等を招へいし、指導を仰ぎ、実践内容が深まった。また、中学校英語授業公開をし、小学校版CAN DOリストの作成にとりかかるなど、小・中学校間の英語に関する連携も進んだ。</p> <p>○小学校における外国語科・外国語活動において、担任が中心となって授業を進め、効果を上げるための指示やコメントなどでの英語の使用率アップを意識できた。</p> <p>○5月にも、小学校6年生が台湾の富田国民学校5年生とリモート交流を行った。</p> <p>【評価】</p> <p>○英語体験事業であるキッザニア甲子園のEAPプログラムについて、生きた英語に触れるという観点から、小学校6年生には効果があった。</p> <p>○中学校における実用英語技能検定において、中学校3年生の3級以上取得率が大阪府の目標50%に対して28%であったため、今後努力を要する。</p> <p>○リモート交流を通して、国際理解の促進につながる取り組みが充実した。</p>

<p>5. 今後の課題と方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○今後、村立小学校教職員の入れ替わりがあっても、小学校の外国語活動の質を維持するため、指導者の研修や指導案・教材等の共有化が引き続き必要である。 ○ネイティブスピーカーの英語に触れる効果を鑑み、今後もALTの活用を進めていく。 ○中学生の実用英語技能検定を引き続き実施していく。取得率については母数が少ないため、比較することについての是非はあるが、村内で50%以上の取得率を目指し今後も英語授業の充実を図る。 ○小学校英語について、現行学習指導要領に合わせ、実践内容をより改善していく必要がある。今後も大学講師等を招へいして研修を深める。 ○英語体験事業であるキッズニア甲子園のEAPプログラムについて、小学校6年生については令和6年度も実施し、中学校1年生は、くすのきホールにおいて「中学生英語Camp」も実施を予定している。
---------------------	--

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	1 社会を生き抜く、確かな学力づくり (3) ICT教育と情報モラル教育
2. 事業の概要	様々な教科・領域の学習活動において、ICT機器を活用して、効果的な授業を行う。 情報モラル教育について、発達段階に則し適切に行う。
3. 令和5年度 取組状況	○ICT機器を活用した教科などの学習活動を実施している。 ○デジタル教科書もしくは、デジタル教材（ワークシート）等を引き続き購入した。
4. 成果と評価	<p>【成果】</p> <p>○教科等の学習で映像等を示すことが増え、視覚支援も含め、理解の促進につながった。</p> <p>○各校でのICT機器活用に関して大阪教育大学より情報教育推進コーディネータを招き、実際に活用する場面を見てもらい、指導助言をいただいたことで、教職員の指導力向上につながった。</p> <p>○児童生徒が、校外学習等で必要な情報や進路に関する情報等をパソコンで調べる学習活動を行うことで、情報活用力の向上を図ることができた。</p> <p>○小学校ではICT機器の利用促進のため、児童生徒のローマ字入力など、技能の定着を系統的に図るため、利用計画を策定した。</p> <p>○プログラミング教育の充実を図るため、担当者会等を3回開き、プログラミング授業の進め方についての検討をした。</p> <p>○情報モラル教育においては、「SNSノートおおさか」の活用により、ネット上のマナー、肖像権や著作権についての理解が深まった。</p> <p>【評価】</p> <p>○「千早赤阪村学校教育情報化推進計画」（令和3年9月～令和6年3月）に基づき、AIドリルの活用、SNSノートおおさかの活用ができた。</p> <p>○自分の考えや意見を整理したり、学級内で交流したりするための効果的なツールとして「ロイロノート」（思考ツールソフト）を試験的に導入したことで、授業中の交流場面が活発になった。</p>
5. 今後の課題と 方向性	<p>○自分の考えを伝えるために、言語活動をより充実させ、ICT機器を使った発信と関連付けるなど、活動内容の工夫が必要である。</p> <p>○情報活用力の向上として、さらにICT機器の活用を図る。</p> <p>○教職員のICT機器活用能力には差があるため、環境整備に合わせ、ICT研修を実施し、プログラミング教育についても研修等を実施していく。</p> <p>○情報モラル教育について、「SNSノートおおさか」の活用を進めるなど、年間計画を見直しながら取り組みを推進する。</p> <p>○情報教育推進コーディネータの招へいを引き続き行い、各校の情報教育について、さらに活用の幅を広げていく。</p> <p>○令和6年度からロイロノートを本格的に導入したので、活用方法について検討する。</p>

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	1 社会を生き抜く、確かな学力づくり (4) 支援教育
2. 事業の概要	支援が必要な児童・生徒に対して、個別の教育支援計画、指導計画を作成し、個人に合ったカリキュラムで教育を進める。
3. 令和5年度 取組状況	<p>○支援が必要な児童・生徒に対して、個別の教育支援計画、指導計画を作成し、個に応じた教育カリキュラムのもと学習指導を行った。</p> <p>○介助が必要な児童についてはスクールサポーターを任用して、配慮した。</p> <p>○障がい種別による支援学級設置を進め、各校に以下の支援学級を設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤阪小学校 知的障がい学級 情緒障がい学級 病弱学級 ・千早小吹台小学校 知的障がい学級 情緒障がい学級 ・村立中学校 知的障がい学級 情緒障がい学級 <p>○支援学級教職員の教育技術向上のため下記研修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部支援教育コーディネータ研修 2回 ・南河内地区支援教育ブロック研修 1回 ・大阪府教育センター主催研修 10回 ・千早赤阪村支援教育担当者(兼リーディング・スタッフ)会議 4回
4. 成果と評価	<p>【成果】</p> <p>○各校で、支援が必要な児童・生徒に対して、きめ細やかな教育を実施できた。</p> <p>○支援教育コーディネータを中心に、各校で支援教育会議を開き、個別のケース検討会議を行うことで、校内で統一した基準に則って支援教育を行う体制が整ってきた。</p> <p>○訪問相談事業を活用して、大阪府立富田林支援学校(6回)、大阪南視覚支援学校(2回)の教員を必要に応じて招へいし、授業見学からの指導助言や教育相談により児童生徒についての認識を深めた。</p> <p>○健康課所管のサポートノートを活用し、学校及び関係機関との情報共有を行った。</p> <p>【評価】</p> <p>○校内や村内で情報共有することで、支援教育のあり方が統一されてきた。</p>
5. 今後の課題と 方向性	<p>○支援が必要な児童・生徒に対して、個別の支援計画、指導計画を作成し、個人に合ったカリキュラムで教育を進める。今後も引き続き障がいのある子どもの就学が見込まれるため、できるだけ早い段階で就学相談等の対応を、健康課やげんきこども園、各校と連携しながら進めていく。</p> <p>○就学児のニーズに合わせ、障がい種別に応じた支援学級入級を進める。</p> <p>○通級指導教室を活かして、課題に応じた自立活動・課題克服の支援推進に努める。</p> <p>○健康課所管のサポートノートを活用し、関係機関との情報共有をさらに活発にする。</p> <p>○令和4年4月27日付文科省通知「特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について」を受け、村内の支援学級の運用について、指導助言を行う。</p>

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	2 豊かな心、たくましい人づくり (1) キャリア教育
2. 事業の概要	令和2年度から本格的に取り入れたキャリアパスポートの活用を含め、小学校1年生から中学校3年生までの9年間を通したキャリア教育を行う。
3. 令和5年度 取組状況	○キャリア教育担当者会議を開き、小中学校の連携を図ったキャリア教育全体計画を作成したり、それぞれの学校の情報を交換したりして、課題を共有し、より良い取り組みになるように図った。 ○キャリアパスポートについての理解を深め、村で統一した取り組みができるように、担当者会議を通じて指導助言をした。
4. 成果と評価	【成果】 ○全2回の担当者会での話し合いにより、キャリアパスポートについての理解を確実なものにして、各学校の全教員に広げることができ、次年度以降のスムーズな取り組みへとつながった。(ファイルの形式、保管方法など) 【評価】 ○担当者会を通じて、小学校と中学校の連携を図り、学習内容や取り組み内容に系統性を持たせ、ポートフォリオの方法などの課題を共有しながら深めることができた。
5. 今後の課題と 方向性	○担当者会の内容を確実に各校に広げ、他の教員の意見等、各校の実践が次の担当者会につながるよう進めていく。 ○キャリアパスポートの内容について、担当者会等を通じて情報交換しながらより良いものにしていく。

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	2 豊かな心、たくましい人づくり (2) 道徳教育
2. 事業の概要	「道徳教育全体計画」に基づき、道徳科及び各教科等で道徳教育に取り組む。授業の方法や評価の仕方について、事例を研究し工夫して取り組む。
3. 令和5年度 取組状況	<p>○村の今年度の道徳教育について、理解を深めるとともに、国や大阪府の道徳教育の動きについても情報共有を行った。千早赤阪村道徳教育推進教師連絡協議会において、各校での実践事例や評価方法について情報交換を行った。</p> <p>○道徳の時間においては、道徳的価値を自分事として理解し、多面的、多角的に深く考えたり、議論したりする授業を進めた。</p>
4. 成果と評価	<p>【成果】</p> <p>○小中学校ともに、各校の道徳教育全体計画を見直し、授業方法について検討することができた。</p> <p>【評価】</p> <p>○千早赤阪村道徳教育推進教師連絡協議会では、各校の実施計画及び活動内容、また評価の方法などについて情報共有と意見交換を行い、授業方法の改善に努めた。</p>
5. 今後の課題と 方向性	<p>○学校の教育活動全体で道徳教育を推進するために、各校の道徳教育全体計画を毎年確認し、適切な教育活動ができているか確認を行う。</p> <p>○千早赤阪村道徳教育推進教師連絡協議会を開催し、各校の道徳教育の取り組み状況や進捗状況等を情報共有する。</p> <p>○各校で道徳の研究授業を行い、小中学校の教職員が子どもの実態に応じて討議するなど、積極的に交流を図り、「道徳」を核にした心の教育の充実を進めていく。</p>

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	2 豊かな心、たくましい人づくり (3) 人権教育
2. 事業の概要	大阪府及び千早赤阪村における「人権教育の基本方針・人権教育推進プラン」に基づいた人権教育の充実、推進を図る。 豊かな人間性を育むため、教育活動全体を通じて、計画的、発展的に人権教育を行う。
3. 令和5年度 取組状況	○各学校で特色のある取り組みを行った。 ・異年齢集団による仲間作り ・「パラリンピックキャラバン」事業による障がい者理解人権学習 ○教職員の人権意識の向上を図るために「ジェンダー平等」をテーマに研修を実施した。 ・大阪府教育センター作成の人権リーフレットを活用した各校での研修 ○東人研（東部人権教育研究協議会）、南人教（南河内地区人権教育研究協議会）との連携を図るとともに、大人教（大阪府人権教育研究協議会）南河内大会への参加も通じて、教職員の人権教育についての研修を深めた。 ○千早赤阪村人権教育担当者会を組織して、実践交流等を進めた。
4. 成果と評価	【成果】 ○障がい者理解教育等では、外部人材や施設等を活用し、児童生徒の人権意識が高まってきた。 ○担当者会で情報交換を行い、校内だけでなく村内へ広めることもできた。 ○大阪府教育センターが作成したリーフレットを配布し、各校で研修を行うことを通じて、若手教職員の人権教育についての認識を育んだ。 【評価】 ○学校において、様々な研修等を通じ、人権について教職員の意識を高められた。
5. 今後の課題と 方向性	○今後も児童・生徒の人権意識の育成を、様々な教育活動の中において計画的に行っていく。 ○教育活動の中に「問題解決的な学習」「体験的な活動」「情報モラルに関する指導」「現代的な課題」を取り入れるとともに、ゲストティーチャーの招へいを行っていく。 ○保護者や地域への啓発も含めた実践の場づくり等の可能性を探る。 ○児童生徒の指導にあたる教職員の人権感覚を高めるための研修をより工夫していく。

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	2 豊かな心、たくましい人づくり (4) 体力・運動能力
2. 事業の概要	体力・運動能力の向上に向けて、連携を図る。
3. 令和5年度 取組状況	<p>○体力・運動能力向上担当者会議を開き、小中学校の連携を図った計画表を作成したり、それぞれの学校の体力・運動能力テストの結果やアクションプランの進捗状況などの情報を交換したりして、課題を共有した。</p> <p>○大阪府と連携し、小学校3年生と4年生のデータを府全体の数値と比較し、各校における課題を見出し、解決に向けた方策をアクションプランの中に記載する。</p>
4. 成果と評価	<p>【成果】</p> <p>○全2回の担当者会を通じて、小学校と中学校の連携を図り、取り組み内容に系統性を持たせ、課題を共有しながら深めることができた。</p> <p>○体育科を中心に児童生徒の体力向上に向けた授業づくりについて、情報共有することができた。</p> <p>【評価】</p> <p>○体力向上に向けた授業づくりなどの取り組みを精査し、村の子どもたちの体力・運動能力の向上に努めた。</p>
5. 今後の課題と 方向性	<p>○担当者会の内容を確実に各校に広げ、他の教員の意見等、各校の実践が次の担当者会につながるよう進めていく。</p> <p>○体力・運動能力を向上させるための授業づくりについて、担当者会の中で、今後も情報共有を行うとともに、その効果について検討する。</p>

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	2 豊かな心、たくましい人づくり (5) 食育
2. 事業の概要	<p>児童・生徒に安全な給食を提供する。</p> <p>給食を通じた食に関する指導の実施や、地場産物の活用を高めるなど、食育の推進に努める。</p> <p>安全な給食を提供するため、学校給食センターや各学校の配膳室等の施設の維持管理、整備を行う。</p>
3. 令和5年度 取組状況	<p>○学校給食の実施 【別紙1参照】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー対応食の提供 3名(3-(4)にも記載) ・弁当給食の実施、6年生交流バイキング給食の再開 各1回 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>～弁当給食の様子～</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>～6年生交流バイキング給食の様子～</p> </div> </div> <p>○学校給食の安全・衛生管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材購入の際の産地、加工食品の成分、製法等の確認を行った。 ・給食関係職員、調理員、トラック運転手に衛生講習を実施した。 ・衛生管理向上のため、大阪府学校給食の衛生管理等に関する調査研究事業の巡回指導を受け、設備器具類の整備、ドライ運用等の作業工程を改善した。 ・千早赤阪村学校給食食物アレルギー対応検討委員会を開催し、府のガイドライン改訂について情報共有、協議を行い、村手引きの改訂を行った。(3-(4)) <p>○学校において食に関する指導を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校において「おはしデー」3回、「おさかなデー」3回実施。 ・給食指導46回 ・教科と関連した食に関する指導等35回 ・肥満およびやせ傾向児童への個別相談指導80回 <p>○地場産物の利用 (みかん・玉ねぎ・じゃがいも・きゅうり・ナス等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村内産、河南町産合わせ、4,243kgを購入した。(使用割合は43.0%、前年度比5.9ポイント増) ・村内青果納入団体と協議し、納入品目の拡大、発注・納品方法の改善を行った。 <p>○衛生環境の向上及び安全に調理業務ができるよう、故障した設備等の修理を都度行った。</p>

<p>4. 成果と評価</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○栄養バランスのとれた豊かな給食を提供することができた。 ○献立作成委員会・毎月の物資購入委員会において、保護者・学校代表と献立や使用食材を検討するとともに、給食における子どもの食の状況を把握することで、よりふさわしい給食提供に努めることができた。 ○食物アレルギーを持つ児童・生徒への食物アレルギー対応食を提供することにより、子どもの健康保持に資することができた。(3-(4)) ○学校との連携により、学校行事を考慮した給食の提供ができた。 ○栄養教諭が各学校において食に関する指導を行うことで、給食を小中一貫した食育の生きた教材として活用できた。 ○地場産物を積極的に利用することができ、地元の青果や生産者に親しみを持つことができた。 ○学校給食センターの設備等の更新・修繕により、衛生環境の向上及び安全な調理業務の実施が図れた。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「千早赤阪村学校給食衛生管理の手引き」に基づき、安全・衛生の確保に努めることができた。
<p>5. 今後の課題と方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○食材の購入、調理等で安全の確保に留意する。 ○「千早赤阪村学校給食におけるアレルギー対応の手引き」に基づき、安全できめ細かい食物アレルギー対応食を提供する。(3-(4)) ○村費栄養士による、食物アレルギー対応、食に関する指導の充実を図る。 ○試食会等やホームページ等を活用し、保護者や地域の方に給食をより知ってもらおう。 ○学校給食センターの設備等の経年劣化に伴う修繕及び更新を計画的に進める。

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	2 豊かな心、たくましい人づくり (6) 郷土学
2. 事業の概要	社会科の学習、総合的な学習の中で、郷土に関する学習を深める。
3. 令和5年度 取組状況	<p>○令和5年度も、村独自のカリキュラムとして「千早赤阪村郷土学」を推進していく。</p> <p>○千早赤阪村の郷土学を推進するために「千早赤阪村郷土学担当者会議」を開き、各校へ担当者を通じて広げるようにした。</p> <p>○赤阪小学校と千早小吹台小学校の5年生が参加する森林環境授業「木^{もく}育^{いく}教室」を実施した。</p> <p>○楠公史跡保存会の協力を得て、小学校6年生と中学校2年生を対象に出前授業を行った。</p>
4. 成果と評価	<p>【成果】</p> <p>○副読本『わたしたちの村千早赤阪』の活用により郷土学習が深まった。</p> <p>○千早赤阪村郷土学担当者会議を通じて、村独自のカリキュラムとして「千早赤阪村郷土学」を実施した。また、小学校第1学年から中学校第3学年にわたる一貫した「千早赤阪村郷土学プログラム（郷土を知り、愛し、誇りをもって語れる子どもの育成）」の実施及び推進を行った。</p>
5. 今後の課題と 方向性	<p>○副読本『わたしたちの村千早赤阪』について、小学校での活用を行うとともに、さらに必要となる教材について作成を進めていく。</p> <p>○「千早赤阪村郷土学」について、策定したカリキュラムに基づいた指導を推進していく。</p>

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	3-1 安全安心な学校づくりの推進 (1) いじめ・虐待防止・不登校対策他
2. 事業の概要	学校における全ての教育活動において、人間としての基本的な倫理観や規範意識を身に付ける指導体制を確立する。
3. 令和5年度 取組状況	<p>○いじめ等問題行動に対して、未然防止、早期発見、早期対応を行う体制づくりを行い、村小中生活指導担当者会議（村生指）において情報共有を図った。</p> <p>○不登校への対応、減少に向けて、SSW（スクールソーシャルワーカー）、SC（スクールカウンセラー）などを積極的に活用した。</p> <p>○令和5年度も引き続き、千早赤阪村教育支援センター（くすのきルーム）を設置し運用した。</p>
4. 成果と評価	<p>【成果】</p> <p>○村小中生活指導担当者会議（村生指）において、児童・生徒の様子を積極的に情報交換し、課題の早期発見、課題への早期対応の意識向上を図った。</p> <p>○要保護児童対策地域連絡協議会と連携し、生活面において支援を要する子どもや家庭について、ケース会議を行った。</p> <p>○SSW（スクールソーシャルワーカー）の活動実績</p> <p>赤阪小学校 53回</p> <p>千早小吹台小学校 24回</p> <p>村立中学校 33回</p> <p>SC（スクールカウンセラー）延べ相談回数 363件</p> <p>【評価】</p> <p>○SSWの学校訪問やくすのきルーム開設などにより、全日欠席児童生徒がいないことは成果とする一方、学校へ行きにくさを感じている児童への対応について今後も検討を重ねる必要がある。</p>
5. 今後の課題と 方向性	<p>○村小中生活指導連絡会議（村生指）において情報共有を今後も進めていく。</p> <p>○いじめ対策連絡協議会や関係機関との連携の充実を図っていく。</p> <p>○令和6年度より全ての小学校へのSCの完全配置（年間12回）を活用し、今後も早い段階での発見や対応を心掛けるとともに、児童生徒の心のケアを大切にされた対応をしていく。</p>

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	3-1 安全安心な学校づくりの推進 (2)学校施設・通学
2. 事業の概要	<p>小学校統合により、通学距離の延びた旧多聞小学校区児童、旧千早小学校区の児童の安全確保のため、通学バスを運行する。</p> <p>小吹台地域から中学校への通学の利便性向上のため、利用者負担を求めて通学バスを運行する。</p> <p>路線バスを利用して中学校へ通学する遠距離通学の生徒に対し、通学バス利用者との負担の均衡を勘案して、通学費を補助する。</p>
3. 令和5年度 取組状況	<p>○令和3年度から中学校通学バスの利用者負担軽減や遠距離通学補助の拡充を行うとともに、児童、生徒の安全確保及び利便性の向上のため、運行を実施した。</p> <p>○通学バス運行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤阪小学校（1台） 利用者 4人 ・千早小吹台小学校（2台） 利用者 26人 <p style="text-align: right;">小学校バス運行委託料 11,668,305円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校（1台） 利用者 定期利用者 13人 <p style="text-align: right;">利用者負担金 722,500円（回数券代含む。）</p> <p style="text-align: right;">（利用者負担額 定期券月額4,000円、回数券1回150円）</p> <p style="text-align: right;">中学校バス運行委託料 3,630,385円</p> <p>○遠距離通学補助（令和5年4月～12月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助人数4人、補助総額51,500円 ・路線バス（金剛バス）廃止後は、既存の通学バスを活用し、遠距離通学となる千早地区と中学校間の便を増便した。
4. 成果と評価	<p>【成果】</p> <p>○通学バス運行により、児童の登下校時の安全確保が図れた。</p> <p>【評価】</p> <p>○学校行事等の移動手段としても活用しており、保護者負担の軽減と学校行事等の円滑な実施ができた。</p> <p>○路線バス（金剛バス）廃止により千早地区の中学校生徒の登下校が困難となったが、既存の通学バスを増便し、状況の改善を図ることができた。</p>
5. 今後の課題と 方向性	○児童生徒数の減少により、通学バスの小型化の検討も行いながら運行していく。

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	3-1 安全安心な学校づくりの推進 (3) 防災教育
2. 事業の概要	<p>学校の安全管理と教育環境の整備を図る。</p> <p>防災教育として、各学校での避難訓練に府事業の防災士の派遣を依頼するなど推進に取り組む。</p>
3. 令和5年度 取組状況	<p>○小学校の安全確保のため、防災担当教職員が中心となり、校務員等による児童生徒の登下校時に対する監視を担当した。また、地域協働による学校安全体制として、校区ごとに子ども安全見守り隊や青色防犯パトロール隊がボランティアで組織されており、校区での見守り活動が行われた。また、通学路の安全確認を行い、関係機関との連携を図り危険個所の改善に向けて調整を行った。</p> <p>○各学校において避難訓練を年3回計画し、実施した。</p>
4. 成果と評価	<p>【成果】</p> <p>○小学校通学路の安全点検や、地域住民などのボランティアによる見守りにより、児童・生徒の安全対策に努めることができた。</p> <p>○各学校で実施した3回の避難訓練の内、1回において、防災士の指導助言を得た。教職員をはじめ、児童生徒は防災士の専門的な意見を聞くことで、安全への意識が高まった。</p> <p>【評価】</p> <p>○地域住民の安全監視については、これまでも成果として十分なので、今後も継続できるよう努める。</p> <p>○防災士の助言については非常に効果が高い。</p>
5. 今後の課題と 方向性	<p>○学校の安全対策は、立地条件など諸条件により困難な面もある中、地域住民や関係機関と連携を図りながら取り組んでいく。</p> <p>○登下校時の安全確保のため、ボランティアによる子ども安全見守り隊・青色防犯パトロール隊の協力について、引き続き学校を通じて依頼していく。</p> <p>○各小学校区に地域安全センターが設置されており、学校、PTA、子ども安全見守り隊・青色防犯パトロール隊、警察署等関係団体が連携協力をし、防犯力を高める。</p> <p>○今後も引き続き、防災士の派遣を依頼することで、村立学校全体の安全教育の推進を図っていく。</p>

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	3-1 安全安心な学校づくりの推進 (4) 食物アレルギーへの対応
2. 事業の概要	「千早赤阪村学校給食における食物アレルギー対応の手引き」に基づき、代替食対応を実施し、全ての児童・生徒が給食時間を安全に、かつ、楽しんで過ごせるようにする。
3. 令和5年度 取組状況	<p>○食物アレルギー対応食の提供を3名に行った。</p> <p>○千早赤阪村学校給食食物アレルギー対応検討委員会を開催し、府のガイドライン改訂について情報共有、協議を行い、村手引きの改訂を行った。</p> <p>○村教職員全体研修において、講師として小児アレルギーエドゥケーターを招聘し、専門的な知識を講義してもらうとともに、2小1中職員合同で、緊急時対応シミュレーション研修を行った。</p>
4. 成果と評価	<p>【成果】</p> <p>○食物アレルギーを持つ児童・生徒への食物アレルギー対応食を提供することにより、子どもの健康保持に資することができた。また、毎月、対象保護者と面談することにより、きめ細かい情報交換を行うことができた。</p> <p>○村アレルギー対応検討委員会で、ヒヤリハット事例や府の事故事例を共有することにより、学校教職員や関係者の意識向上ができた。</p> <p>【評価】</p> <p>○きめ細やかな情報交換を通して、食の安全に努めている。</p>
5. 今後の課題と 方向性	<p>○「千早赤阪村学校給食におけるアレルギー対応の手引き」に基づき、安全できめ細かい食物アレルギー対応食を提供する。</p> <p>○千早赤阪村学校給食食物アレルギー対応検討委員会を開催し、有識者や教職員の意見を取り入れながら、対応の見直し、改善を行う。</p> <p>○食物アレルギーに関する校内研修の実施を進め、緊急時対応ができる体制を整える。</p>

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	3-2 学校および教職員の資質の向上 (1) 学校運営・評価
2. 事業の概要	各学校の教職員の資質向上を図るために、学校評価・学校評議員制度を活用する。 また、村立小中学校の教育の連携推進を図る。
3. 令和5年度 取組状況	○各校において、重点目標を設定し、取り組み内容についての進捗状況や年度末の報告書 を受理した。 ○校長会、教頭会で、各校の情報交換等を行い、連携を図った。また、「理科」と「音楽」 の指導において、中学校教員における小中連携を図った。
4. 成果と評価	【成果】 ○各校ともに重点目標に沿って教育を進めており、学校評議員からも肯定的意見を得た。 ○学校評価について、結果を各校のホームページに掲載し公表した。 【評価】 ○小学校入学から中学校卒業までの様々な面での系統的連携が意識づけされた。種々の 担当者会と中学校教員による小学校と中学校の連携の成果があった。
5. 今後の課題と 方向性	○学校評価の報告書、学校評議員からの意見を次年度に向けて効果的に活用していく。 ○令和6年度も、「理科」と「音楽」の指導における小中の連携を行う。担当者会での小 学校と中学校の連携の意義を見直し、今後も内容を見直しながら深めていく。

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	3-2 学校および教職員の資質の向上 (2) 教職員研修の充実
2. 事業の概要	<p>教職員の資質向上を図るために、様々な教職員研修を行う。</p> <p>各校の学習内容の向上、授業力の向上をめざす校内での研修をサポートする。また、各担当者とともに担当者会議を適宜開く。</p> <p>村教委研修だけではなく、大阪府教育センターの研修を積極的に活用し、教職員の資質向上を図る。</p>
3. 令和5年度 取組状況	<p>○校長会や教頭会の時間に、府教育庁の指示伝達事項を伝える等、管理職研修を行った。</p> <p>○府教育センターから指導主事を招き三町村合同研修（3回）を行った。</p> <p>○村立学校該当教員に研究授業の実施・公開を義務付けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者及び2年目、3年目教員研究授業（3回）・外国語活動研究授業（4回） ・千早赤阪村立小・中学校 道徳教育研究授業（1回） <p>○村の各校の担当者会議を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上担当者会議（5回） ・外国語教育担当者会議（4回） ・道徳教育推進教師連絡協議会（2回） ・食育担当者会（2回） ・千早赤阪村支援教育担当者（リーディング・スタッフ）会議（3回） ・人権教育担当者会議（2回） ・体力・運動能力向上担当者会議（2回） ・ICT教育担当者会議（3回） ・郷土学担当者会議（3回） ・キャリア教育担当者会議（2回） <p>○村立学校に勤務する教職員を対象に全体研修を行った。（1回）</p>
4. 成果と評価	<p>【成果】</p> <p>○様々な研修を持つことで、教員の資質向上を図ることができた。また、各種担当者会議の中で、村立学校の教育について情報共有を行うことができ、相互理解が深まった。</p> <p>○小・中学校教職員全体研修では、人権教育、学習指導要領がめざす教育について理解を深めた。</p> <p>【評価】</p> <p>○研修を適宜行うことで、教職員の授業力が向上したことは評価できる。</p> <p>○各種担当者会議の内容や回数について精査し、必要に応じて検討する。</p>

<p>5. 今後の課題と方向性</p>	<p>○教職員の資質向上に研修は欠かせないため、今後も教職員研修を充実していく。しかし現行の体制で、村教委が主として研修を企画・運営していくには限りがあるので、今後も、大阪府教育センターの研修受講を進めたり、市町村連携での研修への積極的参加を促したりするとともに、学校独自の取り組みを大切にし、学校実施の研修を支援する方向で進めていく。</p> <p>○全国教員研修プラットフォーム（Plant）を活用し、教職員の研修に機会を保障するとともに、各教職員の受講状況を把握し、今後の指導助言に活かしていく。</p> <p>○大阪教育大学と愛知教育大学の共同開発による研修システム（OZONE EDU）を活用し、オンラインによる研修機会を設け、教職員の能力向上に努める。</p> <p>○校長会、教頭会等での指示伝達事項等については、今後ももれのないように伝達を行い、不祥事予防についても万全を期していきたい。</p>
---------------------	--

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	3-2 学校および教職員の資質の向上 (3) 働き方改革
2. 事業の概要	校務支援システム、オンライン会議等を導入するなどして、教職員の勤務時間の適正化を図る。
3. 令和5年度 取組状況	<p>○校務支援システムを活用し、公務の効率化を図った。</p> <p>○オンライン会議を行い、勤務時間の短縮を図った。</p> <p>○校長会や教頭会の時間を中心に、大阪府教育庁の指示伝達事項等を伝える等、労働安全衛生体制の充実等についても折に触れ、校長や教頭に伝えた。</p> <p>○夏期と冬期の休業期間中に学校閉庁日（8月11日～15日、12月28日、1月4日）を設けた。</p>
4. 成果と評価	<p>【成果】</p> <p>○職場環境の改善、勤務時間の把握等も適切におこなわれた。</p> <p>○学校閉庁日を設けることにより、学校職員の休暇を促し、働き方改革の一端となった。</p> <p>【評価】</p> <p>○業務の効率化を図ることで、日々の業務にかかる時間を授業づくりに充てることができた。</p>
5. 今後の課題と 方向性	<p>○校長会、教頭会等での指示伝達事項等については、今後ももれのないように伝達を行っていく。</p> <p>○今後も教職員の働き方改革に努めていく。(校務支援システムの活用、オンライン会議等)</p> <p>○令和6年度も8月と年末年始（12月28日・1月4日）にも学校閉庁日を設定する。</p>

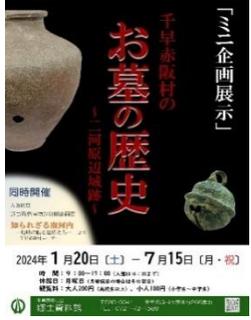
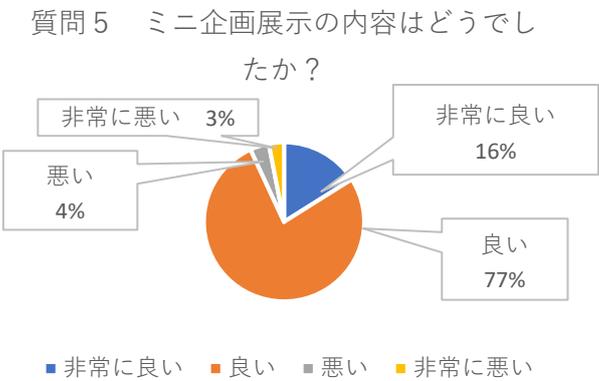
令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	3-2 学校および教職員の資質の向上 (4) 地域学校協働活動
2. 事業の概要	学校と地域が協働して、学校教育における課題に取り組む体制を本村全体で整える。
3. 令和5年度 取組状況	<p>○校長会において、各校の取り組みを互いに共有した。</p> <p>○大阪教育大学・四天王寺大学、近つ飛鳥博物館と連携協定を結び、教育等の分野において連携協力を行った。</p> <p>○大阪教育大学の准教授を情報教育推進コーディネータとして、情報教育の推進を図った。</p> <p>○近つ飛鳥博物館より、両小学校において埴輪づくり体験を行った。</p>
4. 成果と評価	<p>【成果】</p> <p>○校長会等において、各小学校の地域との協働について情報交換し、今後の取り組みの参考とすることができた。</p> <p>○大阪教育大学や近つ飛鳥博物館との連携協定により、様々な取り組みができた。</p> <p>【評価】</p> <p>○地域との関わりの中で子どもたちを育てることができている。</p> <p>○連携協定を通して専門的な見地からの指導を受けることができた。</p>
5. 今後の課題と 方向性	<p>○各学校において、より一層地域との協働活動を活性化していく。</p> <p>○連携協定を結んだ大阪教育大学や四天王寺大学、近つ飛鳥博物館と協働し、様々な分野において教育活動を推進するように努める。</p>

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	3-2 学校および教職員の資質の向上 (5) 不祥事・ハラスメント防止
2. 事業の概要	不祥事・ハラスメント防止に向けて、教職員の意識の向上を図る。
3. 令和5年度 取組状況	<p>○校長会や教頭会において、府教育庁の指示伝達事項を伝える等、折に触れ教職員の不祥事の未然防止について校長や教頭に伝えるとともに、各校におけるハラスメントの研修実施状況を確認した。</p> <p>○各校においても、職員会議の時間などを活用し、学校長から教職員への伝達を随時行った。</p> <p>○新転任者には4月の着任式の際に「不祥事防止に向けて」のプリントを配り、不祥事・ハラスメント予防について啓発した。</p>
4. 成果と評価	<p>【成果】</p> <p>○大阪府教育庁からの指示伝達事項等が、機会あるごとに確実に伝達されていた。全教職員に向けての研修を行い、ハラスメントとは何かという一般的なことから、ハラスメントを受けた際の対応の仕方などについても教示することができた。</p> <p>○セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等の防止に関する指針に基づいた学校への指導助言を行った。</p> <p>【評価】</p> <p>○教職員の中でハラスメントに対する意識が高まっている。</p>
5. 今後の課題と 方向性	○不祥事防止に向けた各校での取り組みを、校長会、教頭会等で情報交換するなどして、意識をさらに高める。(特にワークシートの利用を促す。)

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	4 生涯学べる社会づくり (1) 文化資源の保存と活用																								
2. 事業の概要	関連団体と連携して、村の歴史・文化の普及啓発を行う。																								
3. 令和5年度 取組状況	<p>○楠公史跡保存会に業務委託をし、村立郷土資料館の管理運営を実施した。</p> <p>○ミニ企画展示を開催したことで、村の歴史・文化の啓発活動を行った。</p> <p>展示内容</p> <p>ミニ企画展示（展示期間 令和6年1月20日～7月15日）</p> <p>展示テーマ：千早赤阪村のお墓の歴史～二河原辺城跡～</p> <p>展示物：青磁碗、金属製鈴、瓦質羽釜、常滑焼甕</p> 																								
4. 成果と評価	<p>【成果】</p> <p>○村立郷土資料館年間入館者数</p> <p>令和5年度：2,866人</p> <p>（令和4年度：3,188人、令和3年度：2,877人、令和2年度：2,699人）</p> <p>○月間入館者数</p> <table border="1" data-bbox="451 1014 1468 1182"> <tr> <td>4月</td><td>217人</td><td>7月</td><td>240人</td><td>10月</td><td>255人</td><td>1月</td><td>200人</td> </tr> <tr> <td>5月</td><td>356人</td><td>8月</td><td>254人</td><td>11月</td><td>323人</td><td>2月</td><td>287人</td> </tr> <tr> <td>6月</td><td>195人</td><td>9月</td><td>243人</td><td>12月</td><td>131人</td><td>3月</td><td>165人</td> </tr> </table> <p>【評価】</p> <p>令和5年度から企画展示を再開し、今後の運営のためにアンケート調査も実施した。来館者のニーズを把握し、可能な限り実現できるよう努める。</p> <p>令和5年度における企画展示中の入館者数は昨年度実績を上回ることができなかったため、広報の方法等を改善する必要があると考えられる。</p> <div data-bbox="427 1467 1093 1892"> <p>質問5 ミニ企画展示の内容はどうか？</p>  <p>■非常に良い 16% ■良い 77% ■悪い 4% ■非常に悪い 3%</p> </div> <p>コメント一部抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村のお墓の歴史がよく分かった ・当時の文化をよく知ることができた ・興味深い内容だった ・展示物が少ない ・より踏み込んだ解説がほしい 	4月	217人	7月	240人	10月	255人	1月	200人	5月	356人	8月	254人	11月	323人	2月	287人	6月	195人	9月	243人	12月	131人	3月	165人
4月	217人	7月	240人	10月	255人	1月	200人																		
5月	356人	8月	254人	11月	323人	2月	287人																		
6月	195人	9月	243人	12月	131人	3月	165人																		
5. 今後の課題と 方向性	<p>○昨年度の入館者数プラス10%を目指し、広報の方法等を再検討する。</p> <p>○村立郷土資料館の収蔵資料の台帳作成と整理することで、展示替えをする際の効率化を図り、展示テーマのレパートリーを増やすことに繋げる。</p>																								

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	4 生涯学べる社会づくり (2) 生涯学習の促進 (ア) 各種講座の開催と文化振興		
2. 事業の概要	村民の生涯学習の充実を図る。千早赤阪村の歴史や自然を活かした講座を体系的・継続的に行うことにより生涯学習機会の拡大を進める。		
3. 令和5年度 取組状況	<p>○夏のこども英語教室(8月1日) @くすのきホール第1・2会議室 村のALTが講師となり、レクリエーションを通して授業で習った英語を反復学習し、定着させることを目指した。</p>		
	事業名	開催数(回)	延べ参加者数(人)
	夏のこども英語教室	2※	21
	※内訳:午前の部(小学1・2・3年生)12人、午後の部(小学4・5年生)9人		
	<p>○イングリッシュキャンプ(8月18日) @大阪市立信太山青少年野外活動センター 村のALTが講師となり、活動中は英語のみで会話をすることで、実用的な英語を学ぶことをめざした。</p>		
	事業名	開催数(回)	延べ参加者数(人)
	イングリッシュキャンプ	1	7
	<p>○生涯学習講座(12月17日) くすのきホール第1・2会議室 本事業は文化協会に講師を依頼し、幅広い年代の村民が生涯学習の機会を得て、日常生活を充実させることを目的に令和5年度より開始した。</p>		
	事業名	開催数(回)	参加者数(人)
	水墨画教室(午前の部)	1	5
	木彫り体験教室(午後の部)	1	7
	竹細工教室(午後の部)	1	13
	<p>○文化協会関連事業 (別紙5を参照) 千早赤阪村文化協会に対し、191,864円の補助を行った。補助金を使用し、毎年開催している文化祭などのイベント(村教委共催)を今年度も実施した。</p>		

4. 成果と評価

○夏のこども英語教室

【成果】

- ・英単語を用いてゲームやクイズ、歌を歌い、体を動かしながら楽しく反復学習ができた。

【評価】

- ・参加者アンケートでほとんどが「とても満足」と回答し「来年も参加したい」という意見だった。また、来年度以降の内容として、工作のような体験型の英語学習がしたいという意見が多数あった。



低学年の部



高学年の部

○イングリッシュキャンプ

【成果】

- ・参加者たちは、村のALT、ボランティアスタッフと一緒にカレー作りや外国の遊びなどをすることで、英語で会話をする事ができた。

【評価】

- ・参加者同士の会話では日本語で話す場面も少なからず見受けられたため、英語の使用比率が増えるよう今後の課題としたい。
- ・アンケートではほとんどが「とても満足」とし、「来年も参加したい」と回答した。
- ・近年は日中の気温が高く熱中症の恐れもあるため、安全に活動できるよう対策も考えていく。



イングリッシュキャンプ

○生涯学習講座

【成果】

- ・自宅で趣味として楽しめるような講座もあったため、日常生活を豊かにする手段を提示できたと考えます。
- ・親子3世代で参加をした人も見受けられたため、家族で楽しむ機会を提供できた。

【評価】

- ・参加者アンケートでほとんどが「とても満足」と回答し「来年も参加したい」という意見だった。また、継続して講座を実施してほしいという意見も多数あった。



水墨画教室



木彫り体験教室



竹細工教室

	<p>・文化協会関連事業</p> <p>【成果】</p> <p>○昨年度と比べて新たにクリスマスマーケットを村教委と共催して実施した。また、くすのきホールのギャラリーを貸出して3カ月ごとに企画展示を行い、くすのきホールの来館者に向けて披露した。</p> <p>【評価】</p> <p>○新たな事業を実施したことで、村の文化振興の発展に努めた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>常設展示</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>クリスマスマーケット</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>文化祭</p> </div>
<p>5. 今後の課題と方向性</p>	<p>○一分野にこだわらず、あらゆる分野の開講を検討し、村民のニーズに応える開講を進めていく。</p> <p>○英語教室については、子どもたちの英語学習の促進につながるよう改良していく。</p> <p>また、来年度以降は、アンケート結果で得られた要望を可能な限り実現できるよう、ALTと協力して講座内容を改善するよう努める。</p> <p>○生涯学習講座については新設して間もない事業のため、現段階では講座内容を固定せずに様々な文化事業を体験してもらうことを想定している。</p> <p>○村の文化振興を図るため、今後も文化協会の活動を支援していく。</p>

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	4 生涯学べる社会づくり (2) 生涯学習の促進 (イ) くすのきホールの管理																		
2. 事業の概要	生涯学習施設の適切な管理に努めながら、図書の充実や、住民ニーズをとらえた講座を体系的・継続的に行い生涯学習機会の確保に努める。																		
3. 令和5年度 取組状況	<p>○図書室利用状況</p> <table border="1" data-bbox="453 392 1286 562"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和5年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>貸出冊数</th> <th>利用者数</th> <th>貸出冊数</th> <th>利用者数</th> <th>貸出冊数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12,727</td> <td>3,527</td> <td>12,952</td> <td>3,426</td> <td>12,861</td> <td>3,250</td> </tr> </tbody> </table> <p>くすのきホール貸出状況については【別紙2】参照。</p>	令和5年度		令和4年度		令和3年度		貸出冊数	利用者数	貸出冊数	利用者数	貸出冊数	利用者数	12,727	3,527	12,952	3,426	12,861	3,250
令和5年度		令和4年度		令和3年度															
貸出冊数	利用者数	貸出冊数	利用者数	貸出冊数	利用者数														
12,727	3,527	12,952	3,426	12,861	3,250														
4. 成果と評価	<p>【成果】</p> <p>○くすのきホールは、施設の修繕等を行いながら適切な管理に努めた。</p> <p>○くすのきホール図書室の貸出し冊数は前年より少し減少したが、利用者数は増加を続けている。</p> <p>【評価】</p> <p>○くすのきホール図書室の利用者が増加したことにより、利用者のニーズに沿った運営ができた。</p>																		
5. 今後の課題と 方向性	<p>○くすのきホールは、大ホールのあり方を検討しながら、改修工事等を進めていく。</p> <p>○くすのきホール図書室は、利用者ニーズに応えた蔵書に努め、利用の向上に努める。</p> <p>○夏休みに実施している読み聞かせ（おはなし会）も引き続き開催していく。</p>																		

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	4 生涯学べる社会づくり (3) スポーツ振興と青少年健全育成 (7) 施設管理運営
2. 事業の概要	村民のスポーツに親しむ場を確保、提供し、健康増進に資するため社会体育施設の維持管理及び貸出しを行う。
3. 令和5年度 取組状況	<p>○施設維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B&G海洋センターアリーナの床面及び雨漏りの修理 ・ トレーニングルームのフィルムミラー修理 ・ プールシャワー修理 ・ 体育館前の滑り止め塗装 ・ バレーボール支柱の更新 ・ テニスコート夜間照明タイマー修理 <p>令和5年度からプールの一般開放を行わず、小中学校園のプール授業のみとした。</p>
4. 成果と評価	<p>【成果】</p> <p>○施設の設備更新や修繕により、維持管理に努めた。</p> <p>○村民運動場は、令和3年の夜間照明LED化以後、利用者数、利用料ともに増加が続いている。</p> <p>テニスコートは主要な利用団体の利用回数が減った影響で、利用人数、利用回数ともに減少している。</p> <p>B&G海洋センターは少人数での利用が増えたため、利用料は増加しているが利用者は若干の減となっている。近年は、近隣の大学の利用の増加が目立っている。</p> <p>○各施設利用実績【別紙3参照】</p> <p>【評価】</p> <p>○社会体育施設全体としては、前年度に続き、新たなスポーツ団体の利用が見られ、村民が参加可能なスポーツ種目・スポーツ団体の増加による、スポーツに親しむ場の提供ができた。</p>
5. 今後の課題と 方向性	<p>○設備の老朽化が進んでおり、修理の必要な箇所の増加が見込まれる。</p> <p>○機能の縮小も含め、低コストでの維持管理が必要となる。</p> <p>○引き続き、施設の適切な維持管理に努める。</p>

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	4 生涯学べる社会づくり (3) スポーツ振興と青少年健全育成 (イ) 生涯スポーツ振興
2. 事業の概要	村民のスポーツに親しむ機会の提供、健康推進のためスポーツに関する教室等を開催。関係団体と連携し、スポーツによる交流機会、競技機会を提供する。
3. 令和5年度 取組状況	<p>○村体育協会関係事業【別紙4参照】</p> <p>村民の健康増進、相互の交流機会の増大のため、村体育協会や同協会加盟団体の主催するスポーツ大会を後援した。</p> <p>村で開催される大阪府総合体育大会事業に共催者として参画した。</p> <p>○B&G海洋センター関係事業【別紙5参照】</p> <p>大阪府海洋センター連絡協議会加盟団体とともに、指導員研修会を計画した。</p> <p>○村スポーツ推進委員協議会事業【別紙6参照】</p> <p>南河内地域(6市2町1村)の教育委員会主催の第67回南大阪駅伝競走大会は、参加チーム数が目標に届かず、中止となった。</p> <p>住民へのスポーツ普及のための活動として、村老人クラブに会に対し公式ワナゲの指導を行った。</p> <p>村スポーツ推進委員が河内長野市スポーツ推進委員との合同事業として、キンボールの研修を行った。</p> <p>○村体育協会及び同協会加盟団体の活動支援のため、補助を行った。</p>
4. 成果と評価	<p>【成果】</p> <p>○スポーツ推進委員会が、村老人クラブへの公式ワナゲの指導や、キンボールの研修を行うなど、村のスポーツ普及に取り組んだ。</p> <p>【評価】</p> <p>○スポーツ推進委員が指導を行った公式ワナゲについては村内各地区で器具購入が進み、屋外でのグランドゴルフに対する屋内スポーツとして根付きつつあり、村民のスポーツに親しむ機会の拡大に効果があった。</p> <div style="text-align: right;">  <p>キンボール</p> </div> <div style="text-align: right;">  <p>ソフトボール大会</p> </div>
5. 今後の課題と 方向性	○村内スポーツ人口も高齢化し、減少しているため、種目や内容について、関係団体とともに参加しやすいスポーツの普及を検討していく。

令和6年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	4 生涯学べる社会づくり (3) スポーツ振興と青少年健全育成 (ウ) 青少年の育成
2. 事業の概要	村青少年の健全な育成を図る。
3. 令和5年度 取組状況	<p>○青少年指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年指導員 11 人により、村青少年の健全な育成をめざして活動した。 ・南河内ブロックや大阪府青少年指導員連絡協議会に参加した。 ・村青少年指導員連絡協議会事業【別紙7参照】 ・毎月5日には愛の一声運動として、青色パトロール車で村内を巡回し啓発活動を行った。 <p>○学童保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育連絡会に対し、昨年同額の300万円の補助を行った。また、指導員の処遇改善のため、放課後児童支援員等処遇改善臨時特例補助金を活用して補助を行った。 <p>○二十歳のつどい</p> <p>月日 1月8日(月・祝)</p> <p>場所 くすのきホール 対象者 38人 参加者 26人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金屏風による写真撮影スポットの設置を行った。 ・参加者に対して、記念品(印鑑付ボールペン)を贈った。

<p>4. 成果と評価</p>	<p>・青少年指導</p> <p>【成果】</p> <p>○児童・生徒の非行及び犯罪被害の防止を図るため、愛の一声運動や、挨拶標語の募集など、健全育成活動を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止した、ジュニアリーダースクールなどの、実際に児童・生徒を集めての活動は行えず、次年度からの再開とした。</p> <p>【評価】</p> <p>児童・生徒の非行及び犯罪被害の防止のための活動を実施することが出来た。</p>  <p>棚田ウォークラリー</p> <p>・学童保育</p> <p>【成果】</p> <p>○児童数が減少しているなか、学童保育の利用者数は、令和4年度末の50人から令和5年度末に54人と増加した。</p> <p>【評価】</p> <p>○令和5年度はニュースポーツの体験会が、スポーツ推進委員会と学童との日程が合わなかったことで実施できなかった。</p> <p>・二十歳のつどい</p> <p>【成果】</p> <p>○令和5年度に20歳となる人を対象に式典を行った。</p> <p>○金屏風による写真撮影スポットを設置し、多数の利用があった。</p> <p>【評価】</p> <p>○20歳を迎える人を祝う式典にふさわしい事業を実施することができた</p>
<p>5. 今後の課題と方向性</p>	<p>○学童保育の運営については、今後も関係者との意見交換を行いながらニーズ把握と可能な限りの解決に努めていく。</p> <p>○青少年育成指導については、今後も青少年を取り巻く社会環境の変化にあわせ、活動内容を検討していく。</p> <p>令和6年度より、実際に児童・生徒を集めての事業を再開する。</p> <p>○二十歳のつどいについては、引き続き20歳を対象として開催する。</p>

【別紙1】 学校給食の実施状況

(単位：回、食、円)

月	実施回数 ※1		調理食数	給食費 ※2	物資購入費	委託料	
	小学校	中学校				調理費	配送費
4	13	13	4,311	431,920	1,591,796	3,027,950	28,600
5	20	19	6,373	458,880	2,239,729	3,027,950	28,600
6	22	20	6,629	454,230	2,415,815	3,027,950	28,600
7	9	8	2,923	497,710	1,084,545	3,027,950	28,600
8	2	2	692	(※3)－	285,892	(※4)－	28,600
9	20	18	6,657	541,140	2,355,325	3,027,950	28,600
10	19	20	6,663	565,750	2,478,814	3,027,950	28,600
11	19	17	6,026	528,700	2,048,869	3,027,950	28,600
12	11	11	3,822	503,740	1,423,391	3,027,950	28,600
1	16	16	5,309	531,000	1,940,195	3,027,950	28,600
2	19	17	6,276	532,080	2,389,196	3,027,950	28,600
3	12	11	3,752	508,230	1,597,393	3,028,230	28,600
計	182	172	59,433	5,553,380	21,850,960	33,307,730	343,200

※1 小学1年生は年間178回、中学3年生は年間156回

※2 令和5年度は、村内在住の児童生徒の給食費を千早赤阪村こごせっ子学校給食費補助金（令和5年度実績額：16,424,325円）により無償としたため、教職員等のみ徴収。

※3 8月分の給食費は、9月分と合わせて徴収。

※4 8月分の調理委託料は、9月分と合わせて計上。

【別紙2】 くすのきホール貸し出し状況

単位：件、人、円

年度	ホール			会議室		
	件数	人数	使用料	件数	人数	使用料
R5	55	3,420	186,980	292	6,390	270,846
R4	45	2,997	266,480	227	3,687	346,865
R3	13	730	389,050	302	10,439	133,120
R2	2	180	84,440	200	3,331	126,100
R元	12	1,440	141,420	282	5,797	128,270

※コロナワクチン接種会場での利用を除く

【別紙3】 体育施設利用実績

単位：人、円

月	村民運動場		テニスコート		体 育 館		プール	
	人数	使用料	人数	使用料	人数	使用料	人数	使用料
R5	11,753	1,062,925	1,840	340,850	21,618	2,399,900	0	0
R4	10,310	927,825	2,755	434,700	22,241	2,055,050	0	0
R3	8,012	770,825	3,466	442,850	21,345	1,971,400	0	0
R2	7,689	769,350	3,271	438,150	17,104	1,941,250	0	0
R元	9,890	846,875	3,903	541,750	18,099	1,688,000	5,126	356,975

【別紙4】 体育協会関係事業

開催日	大会	主 催	後 援	場 所
4月12日	村民ゴルフ大会	体協	教委	グロワールゴルフクラブ
4月16日	ソフトボール春季大会	体協	教委	村民運動場
5月7日 14日、21日	ソフトボール 大阪RS協会春季大会	和泉市 ソフトボール連盟	—————	和泉市 光明池緑地運動場
5月14日	テニス春季大会	体協	教委	村立テニスコート
6月4日 11日	大阪府総合体育大会 南河内地区大会 (ソフトボール一般男子)	大阪府体育連合、大阪府教育委員会、各市町村体育協会、各市町村教育-委員会と共催		村民運動場
中止	ソフトボールナイター大会	村ソフトボール連盟	—————	村民運動場
7月9日 16日、23日	ソフトボール 実年男子大阪予選大会	大阪府ソフトボール連盟 大阪RS協会	—————	村民運動場
7月22日 23日	千早赤阪村空手道クラブ 合同研修会	村空手道クラブ	村・教委	B&G 海洋センター
8月5日	バレーボール Team 村 Cup	Team 村 (村バレーボール連盟)	教委	B&G 海洋センター
9月10日	ソフトボール秋期大会	村ソフトボール連盟	—————	村民運動場
11月5日	B&G会長杯 兼 村空手道選手権大会	村空手道クラブ	村・体協・教委	B&G 海洋センター
11月5日 12日 19日	ソフトボール 大阪RS協会会長杯大会	高石市 ソフトボール連盟	—————	高砂公園野球場
11月18日 19日	全国スポーツ祭典 6人制バレーボール大会	新日本 スポーツ連盟	—————	名古屋 パロマ瑞穂アリーナ

11月25日 26日	関西医科学学生空手道大会	小野派糸東流 京都大学医学部 空手道部 (村空手道クラブ)	村・体協・教委	B&G 海洋センター
11月26日	少年ソフトボール 千早赤阪村くすのき杯	千早赤阪村 サンダーズ	体協・教委	村民運動場
2月18日 ～3月24日 毎日曜日	テニス初・中級講習会 ①～⑧	村テニス連盟	教委	村立テニスコート
4月7日 (3月7日から 延期)	ソフトボール連盟 審判伝達講習会	村ソフトボール連盟	教委	村民運動場

【別紙5】

開催日	事業名	主催	後援	場所
10月27日 ～29日	第5回文化祭	文化協会	教委（共催）	くすのきホール
通年	ギャラリー常設展	文化協会	教委（共催）	くすのきホール ギャラリー
8月9日	出前講座 フラダンス	文化協会	教委（共催）	学童保育
8月23日	出前講座 折紙	文化協会	教委（共催）	学童保育
12月3日	第1回 クリスマスマーケット	文化協会	教委（共催）	くすのきホール
通年	千早赤阪音頭復興事業	文化協会	———	くすのきホール 他

【別紙6】 B&G海洋センター関係事業

開催日	事業名	場所	主催
5月	大阪府海洋センター連絡協議会 総会	書面評決	大阪府 海洋センター 連絡協議会

7月1日	大阪府海洋センター連絡協議会 指導員研修会 兼 指導者養成研修会	中止	大阪府 海洋センター 連絡協議会
7月	夏休み子ども水泳教室（幼児教室・児童教室）	中止	教育課
11月8日	B&G全国教育長会議	東京都中央区 ベルサール汐留	B & G財団
1月30日 ～31日	B & G指導員研修会	東京都千代田区 イイノホール	B & G財団
3月22日	大阪府海洋センター連絡協議会担当者会議	千早赤阪村 くすのきホール	大阪府 海洋センター 連絡協議会

※大阪府海洋センター連絡協議会（千早赤阪村・能勢町・堺市美原）事業

【別紙7】スポーツ推進委員協議会事業

大阪府・南河内・村スポーツ推進委員協議会事業

開催日	内 容	場 所
5月13日	南河内地区スポーツ推進委員連絡会第1回代表者会議	松原市役所
5月18日	千早赤阪村スポーツ推進委員協議会総会	くすのきホール
9月10日	大阪府スポーツ推進委員研修会	エル・おおさか
10月27日	南河内地区スポーツ推進委員連絡会第2回代表者会議	松原市役所
11月 9日	千早赤阪村スポーツ推進委員協議会委員会	くすのきホール
11月26日	河内長野市スポーツ推進委員との合同事業	河内長野市
12月 2日	南河内地区スポーツ推進委員連絡会第3回代表者会議	松原市商工会議所
1月 日	学童保育連絡会へのニュースポーツ紹介	千早小吹台小学校体育館
1月28日	千早赤阪村スポーツ推進委員協議会委員会	河内長野市
2月 4日	近畿スポーツ推進委員研究協議会大阪大会	堺市
2月 日	第67回南大阪駅伝競走大会	PL教団本庁敷地内
2月15日	老人会公式ワナゲ大会	くすのきホール
3月30日	千早赤阪村民スポーツフェスティバル	村民運動場

【別紙8】青少年指導員連絡協議会事業

①村青少年指導員連絡協議会の開催

月 日	内 容	場 所
4月20日	第1回委員会	くすのきホール
6月 1日	総会	くすのきホール
8月 7日	普通救命講習会	千早赤阪分署
9月14日	第2回委員会	くすのきホール
10月26日	第3回委員会	くすのきホール
1月11日	第4回委員会	くすのきホール
2月 1日	第5回委員会	くすのきホール

②ジュニアリーダースクールの開催

月 日	内 容	場 所
8月	キャンプでカレーを作ろう	中止
3月	村を出てみよう	中止

③啓発事業

月 日	内 容	場 所
4月～2月	『愛の一声運動』 毎月5日 計11回 (3月は中止)	村内全域
7月～9月	『あいさつの励行標語』の実施	小学校5・6年生・中学生
10月28、29日	文化祭 (あいさつ標語展示)	くすのきホール
11月18日	『あいさつ運動』 校門前であいさつ・啓発グッズ配布	小中学校

④大阪府・南河内ブロック青少年指導員連絡協議会事業への参加

月 日	内 容	場 所
6月16日	南河内ブロック 第1回委員会	松原市
6月20日	大阪府 総会	エル大阪
8月20日	大阪府 第1回研修会	ドーンセンター
8月30日	南河内ブロック 第2回役員会	松原市
12月10日	南河内ブロック 親睦交流会	藤井寺市
1月17日	南河内ブロック 第3回役員会	松原市
2月10日	南河内ブロック 研修会	千早赤阪村
3月 2日	大阪府 第2回研修会	福祉会館

